

## 江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成30年度第1回 第2分科会（健康、福祉分野）
日時	平成30年9月28日（金） 午後1時30分～午後3時25分
場所	江南市役所 2階 大会議室、防災センター 2階 研修室1
出席者	市民委員 安藤 ひとみ、掛布 巳幸、今井 敦六、尾崎 秀子、松尾 昌之、渡部 敬俊
	市職員 倉知 江理子、鶴飼 篤市、大島 里美、平松 幸夫、平野 勝庸、今枝 直之
傍聴者	なし
議題	1. まちづくり会議について 2. まちづくり評価の結果について 3. その他（第2回の会議日程について）
資料	資料1 江南市まちづくり会議委員名簿（平成30年度） 資料2 今年度（平成30年度）のまちづくり評価について 資料3 江南市戦略計画達成状況報告書【中期計画期間（平成23年度～平成25年度）】 資料4 まちづくり評価シートの確認方法について 資料5 まちづくり評価【Ⅱ 健康、福祉分野】

### ◆ 会議結果 ◆

- ・会議の開催にあたり、市長よりあいさつがありました。

#### 1. まちづくり会議について

- ・まちづくり会議について、資料2及び4に基づき、秘書政策課主幹、企画グループリーダーより説明がありました

#### 2. まちづくり評価の結果について

##### 〔柱1〕高齢者の住み慣れた地域での生活の確保

- ・資料5に基づき委員（高齢者生きがい課長）より説明がありました。

##### 〔個別目標②〕高齢者が在宅で安心して暮らしている

- ・独居の高齢者などの見守りについては、協定事業者だけでなく町内会にも協力を呼びかけられないか、との質問があり、区長・町総代会の機会などに依頼できないか、関係課と協議したい。また、平成31年度から3つの地域包括支援センターの圏域ごとに地域づくりの取り組みを進めていく、との説明がありました。
- ・高齢者や福祉といった個々の分野だけで課題を解決していくことは難しいため、地域を巻き込んでこうした課題に取り組んでいく必要がある、との意見がありました。
- ・国は、2025年までに地域包括ケアシステムを構築するとしている。独居、老夫婦なども含め高齢者が安心して過ごせる場が大事になってくるが、生活支援がうまくできないと医療、介護、予防、住まいが成り立たなくなると危惧している。5つの要素のうち、生活支援が一番の肝であり2025年の地域包括ケアシステムの構築に向け目標を達成してほしい、との意見があり、市では平成31年度から“地域づくり”に取り組んでいく。これまで、介護保険は介護サービスを提供して生活を支えていくことに主眼を置いていたが、介護予防にもシフトしている。NPO団体や町内会など様々な団体にも協力していただきながら、

高齢者を地域全体で助け合い、見守っていくことが重要だと考えている。今後、市民の意識の醸成も重要となってくる、との説明がありました。

## **〔柱2〕地域で安心して子育てできる環境づくり**

- ・資料5に基づき委員（こども政策課長、保育課長）より説明がありました。

### **〔個別目標②〕家庭での子育て不安が解消でき、育児が楽しくできている**

- ・子育て支援センター（子育てサロン）の延べ利用者数が減少した理由は、との質問があり、子育て支援センターを頻繁に利用していただいていた方の利用が減少したこと、好評だったイベントの開催ができなくなったことが主な理由と考えている、との説明がありました。
- ・児童虐待発生件数について質疑があり、80件は一宮児童相談センターが取り扱った件数であり、内訳は、身体的が20件、性的が0件、心理的が49件、ネグレクトが11件と聞いている、との説明がありました。

### **〔個別目標③〕異年齢児との交流や親子での遊びを通じ、子どもが健全に育っている**

- ・児童館活動への延べ参加利用者数が減少した理由は、との質問があり、古知野東小学校下の学童保育を古知野児童館で行っていたが、平成29年度から学校敷地内に建設した学童保育所で、学童保育を行うこと等の整理をしたためである、との説明がありました。

## **〔柱3〕障害者の生きがいと安心した生活の確保**

- ・資料5に基づき委員（福祉課長）より説明がありました。

### **〔個別目標①〕障害者が日常生活の支援を受け、能力にあった就労・社会参加をし、生活しやすい社会環境が整備されている**

- ・訪問系サービス（ホームヘルプ等）の利用人数の達成率が下がってきている理由は、との質問があり、ホームヘルパーを自宅に派遣してもらうのではなく、デイサービス施設を利用する人数が増えてきており、ホームヘルプ等の利用人数が減少したためである、との説明がありました。
- ・実績が下がっているのに目標値を上げている理由は、との質問があり、目標を立てた当初は障害者が増えていき、それにつれてホームヘルプを利用する人数も増えていくと考え、徐々に人数を上げていく目標としたが、デイサービス施設を利用する方が増えたため、結果としてこの指標の達成率が低くなった、との説明がありました。

### **〔個別目標②〕障害者が住み慣れた家庭や地域で安全・安心に生活することができるよう地域での福祉活動が行われている**

- ・社会福祉法人への指導監査における不適正な運営指摘件数の内容は、との質問があり、江南市社会福祉協議会など6団体を対象に、定款どおり業務が行われているか、経理が適正かなどについて市職員が監査し、指導を行っている、との説明がありました。

## **〔柱4〕健康な生活の確保**

- ・資料5に基づき委員（健康づくり課長）より説明がありました。

### **〔個別目標②〕必要な予防接種を受け、感染症にかかることなく健康を維持している**

- ・予防接種率の指標はいずれも晴マークだが、本来、100%の接種率であるべきである。達成率が1割も下がっている予防接種があるが理由は、との質問があり、原因は把握できていないのが実情だが、養育医療の対象者が増加していることが要因の1つと考えられる。今後も接種率を100%に近づけることができるよう、しっかりと周知していく、との説明がありました。

## **〔柱5〕 保険年金制度の健全な運営**

- ・資料5に基づき委員（保険年金課長）より説明がありました。

### **〔個別目標①〕 医療保険制度が健全に運営され、市民が安心して医療を受けている**

- ・特定健康診査実施率の分母は、との質問があり、国民健康保険加入者のうち40歳以上の方が分母となる、との説明がありました。
- ・特定健康診査実施率が低いと保険税に影響があると聞いたが、県下の平均は、との質問があり、県下54市町村の平均は40%程度で、江南市は18番目である。国は60%を目標としているため、今後も60%の実施率を目指していく、との説明がありました。

### **〔個別目標②〕 国民年金制度への理解が深まり、届出や保険料の納付が適正に行われている**

- ・国民年金保険料の納付率について質問があり、納付率は73.7%にとどまっており、4人に1人が納付していない計算となる、との説明がありました。

## **〔柱6〕 地域での生活支援の充実と地域で支えあう体制の確保**

- ・資料5に基づき委員（福祉課長）より説明がありました。

### **〔個別目標④〕 地域住民が地域福祉活動や学習活動を積極的に行っている**

- ・市の学習等供用施設の利用者数が減少した理由は、有料化によるものか、との質問があり、有料化も原因の一つだと考えている。有料化や2時間単位の利用についてはいろいろと意見があるため、今年度実施した利用者アンケートの結果を注視していきたい、との説明がありました。

## **3. その他（第2回の会議日程について）**

- ・議事がすべて終了したため、第2回の会議は開催しない旨、事務局より説明がありました。
- ・12月26日に開催予定の全体会議について、事務局より説明がありました。